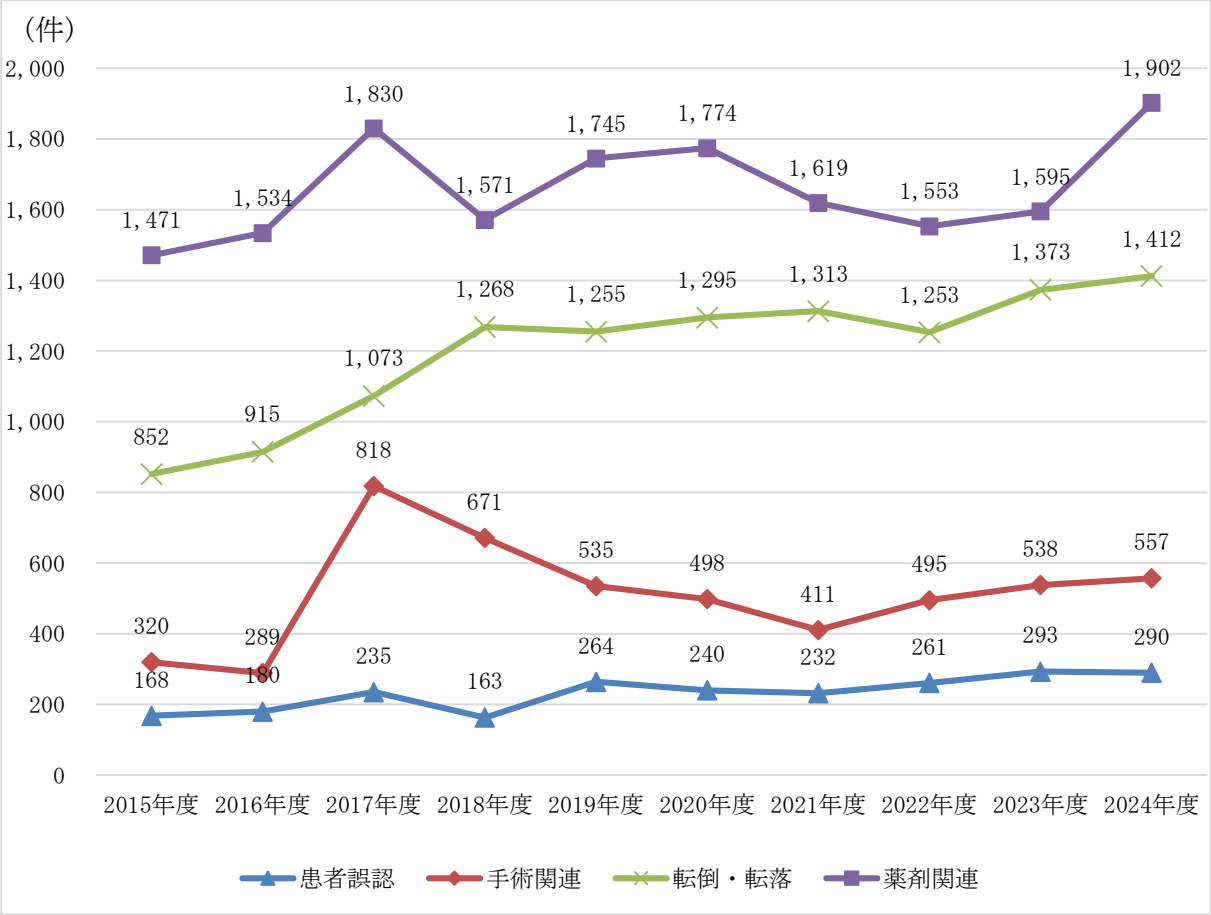
安全管理報告における種類別の報告件数



年度別におけるインシデント報告の種類別件数を示している。毎年薬剤に関連したインシデント報告が最も多く、次いで転倒・転落、手術関連となっている。患者誤認については、情報関連、検査関連、薬剤関連の場面で発生し徐々に増加傾向を示している。有害事象に至る患者誤認は発生していないが、患者誤認は重大な事故につながりかねない医療事故であり、医療安全対策として確実にその防止対策を講じなければならない。当院で定める「2つ以上の識別子」による患者確認の徹底と、患者自身にフルネームや生年月日を名乗っていただく、患者参加の医療安全対策を引き続き推進していく。

データ提供　医療の質・安全対策部　安全管理室